

年表Ⅰ 会堂建築前史

年	事象
1951	発会式礼拝「日本基督湘南教会」倉庫二階、9月臨時総会「建築委員会」
1952/4/13	教会建設式、 現在地 83 坪借地契約、会堂兼牧師館建築計画 予算80万 3年計画募金
1953/3/8	献堂式 総工費 91 万円弱 (年会計の八倍)
1964/2/2	定期総会で会堂建築小委員会:献金開始 ⇒ 10/25 会堂建築決議 予算 250 万 6 年計画
1965/7/18	献堂式 総額 285 万円 この間 YWCA 会館借用(年会計の五倍弱)
1980/1/27	会堂・牧師館増改築建議案可決 予算 1,300 万円
1981/9/27	会堂/牧師館改築感謝会 総額 2, 117 万円 (年会計の四倍)
1986/1/26	湘南教会墓地建設建議案承認
1989/1/8	会堂修理工事および献金計画承認 (白アリ駆除・屋根修理)総経費 26, 810 万円
1999/7/11	「将来の会堂を考える会」土地購入計画 ⇒ 否定
2000/1/30	「会堂建築準備積立金に関する建議」可決 10 年間で 2,000 万円計画。
2009 年末	24,511,168 円で積立完了とし、その後は自由献金とした。
2009/11/9	耐震工事開始 12/12 完了 ⇒ 新任牧師アレルギーのため入居不可能
2016/3/23	東京中会で、教師試補であった澤谷牧師の、湘南教会への招聘が承認された。

年表Ⅱ 新築に至る経緯

年月日	会堂建築関係	コロナ、その影響、その他の事象
2019年		武漢で新型コロナウイルス発見
2020年 1/26 総会	・建築準備金への積立を積極的に取り組むべきだとの提案。⇒ 伝道委員会の第一部会に「会堂を考える任務」を。	
2/1		「 新型コロナウイルス感染症を指定感染症として定める等の政令 」 ⇒ 2/11 COVID19と命名。 ⇒ 3/1 説教ネット配信/聖餐取止め ⇒ 4/12 イースター会堂礼拝 休止 ～6/7に再開するも 讚美歌略、
7/16	・集中豪雨後の深夜、会堂屋根のモルタル部分、大音響と共に崩落。 ・出入業者が、他部分の崩落可能性を指摘	7/12 讚美歌小声で朗読 7/26 説教壇にアクリルパーテーション

8月 小会 8/23	・「 会堂検討委員会設置 」設置決定（小会+α） ・第一回会堂検討委員会	
8/26 9月 ～11月	・2016年に献堂式をした茅ヶ崎東教会で、多様な問題点の指摘と懇切な教示を受けた。 ・会員へのアンケート調査、全体懇談会開催、他教会への訪問調査、他教会からの教示など	
2021年 1/24 総会	・会堂・牧師館新築決議 ・「 会堂建築委員会 」設置	1/24 長老/執事選挙せず。現任者の継続
3/14～ 会堂建築 委員会	・その後 35回 にわたる 委員会開催 ・審議。 ・会員に対しては、5回の 報告書 を発行し ・ 懇談会 、「 共に語る会堂建築 」を10回開催。	3月18日東京中会1日に短縮 中会諸集会また大会議事も、 onlineによる集会
4/25	・「 会堂建築献金の予約のお願い 」 締切5月一杯	4/4 イースター 讃美歌を小声で
7/25 8/1	・設計管理4候補者のプロポーザルの会 ・設計監理者としてT氏を選定 ⇒設計業務本格化	8/22 緊急事態宣言 会堂の礼拝休止 ⇒近隣者で再開
10/17 11/7	・牧師による講演「湘南教会の目指すところ」 ・T氏と建築設計・監理業務委託契約	9/28 緊急事態解除 ⇒祈祷会復活 11/17 聖餐式再開 個包装用品で
2022年 2月24日	材木、鉄製品、石油の暴騰の噂とある程度の現実化。建築には大痛手	ロシアのウクライナへの「特別軍事作戦」を開始。
3/5 3/27	・建築業者4候補対象に見積もり説明会、 ・建築業者S社を選任	
6 臨時総会 6/25	・「新会堂牧師館建築契約について」承認 ・建築業者と、新会堂/牧師館建築仮契約を締結	
7/24 7/31	・旧会堂最後の礼拝 ・平塚 YWCA 会館二階における礼拝	
11/20	・棟上げ感謝会	
2023年 1/29 総会	・大会共助金庫から700万円、中会伝道局から400万円の計11,000万円の貸与を受けた。	長老・執事共に2年の任期継続
4/28	・新会堂/牧師館の竣工引き渡し式	
5/14	・新会堂における最初の主日礼拝	6/25 コロナ感染者あり会堂礼拝休止
9/24	・献堂式挙行	

2020年1月～2023年末までの4年間

受洗者1名、転入会者3名、転会者1名、召天者13名 ⇒ 10名減